

Germany

メタルシートボールバルブ

主に石油精製、石油化学、化学市場で使われるボールバルブでPerrin GmbHの主力製品の一つです。高温に対応し、耐摩耗性を持ち、過酷な環境での配管の開閉に使用されます。



Spain

株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、キッツグループの事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。株主の皆様には、当中間期決算の概要についてご報告申し上げます。

当期間の国内経済は、震災復興関連需要などの公共投資や民間設備投資による内需の改善は見られるものの、中国経済の減速や継続する欧州債務問題といった海外経済の低迷から外需は厳しい状況となりました。

このような経済環境の下、主力のバルブ事業での国内販売は、半導体製造装置向けが減収となったものの、建築設備や上下水道向けなどが全般的に底堅く推移しました。また、海外販売は、好調が続く北米やアジア向けに加え、ヨーロッパ向けも増収を確保することができました。一方、伸銅品事業は、銅相場変動にともなう販売単価の下落などで大幅な減収となったことから、連結売上高は556億5百万円（前年中間期比7億48百万円減、1.3%減収）となりました。

損益面では、バルブ事業において、前年中間期に海外向けの一部で発生した不採算製品がなくなり海外向け製品全般の収益改善に努めたことから、連結営業利益は35億87百万円（同12億43百万円増、53.0%増益）、連結経常利益は34億3百万円（同12億84百万円増、60.6%増益）となり、連結純利益は19億99百万円（同9億25百万円増、86.2%増益）となりました。

先行き不透明な国内外の経済環境において、キッツグループの下期の事業環境は厳しい状況が想定されますが、キッツグループ一丸となってこの難局を乗り切ってまいります。

株主の皆様には、引き続き、キッツグループへご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

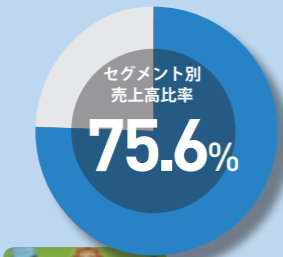
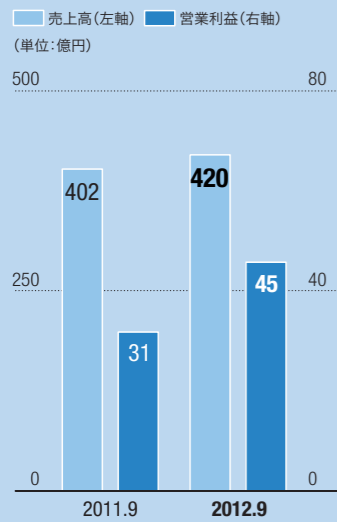
2012年12月

代表取締役社長
堀田 康之**KITZ**

連結営業概況 ●●

● 当中間期のセグメント別売上高・営業利益 ●

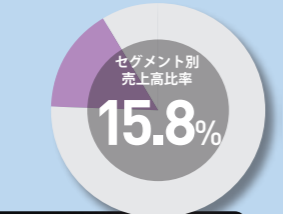
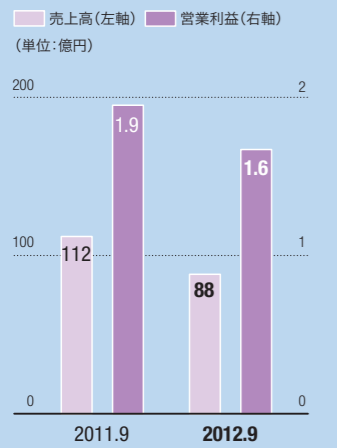
バルブ事業



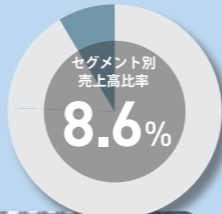
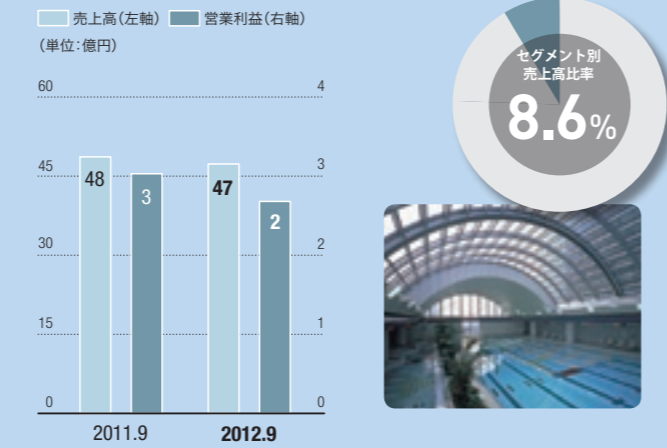
売上高
売上高は、420億62百万円（国内274億55百万円、海外146億6百万円）。国内売上は、半導体製造装置向けの販売が需要減で減収だが、水市場や石油精製・石油化学市場での需要が伸び、全般的に堅調に推移。海外売上は、前期から好調な北米の石油精製・石油化学向けや中国・アセアン地域などアジア市場向けに加え、ヨーロッパ市場でも増収。前年中間期比17億76百万円の増収。

営業利益
営業利益は、45億84百万円。海外売上が堅調であったこと、前年中間期における一部不採算製品がなくなったことに加え、海外向け製品全般の収益改善が進んだことなどにより、前年中間期比13億95百万円の増益。

伸銅品事業



その他



売上高
売上高は、88億13百万円。銅相場の変動ともなう販売価格の下落に加え、需要も低迷し、前年中間期比23億90百万円の減収。
21.3%減

営業利益
営業利益は、1億67百万円。販売量の減少の影響を受けて、前年中間期比28百万円の減益。
14.7%減

売上高
売上高は、47億30百万円。フィットネス事業は増収だが、6月1日に売却した諏訪ガラスの里の売却による利益の減少などにより、前年中間期比1億34百万円の減収。
2.8%減

営業利益
営業利益は、ホテル事業は増益だが、諏訪ガラスの里の売却による利益の減少などにより、前年中間期比34百万円の減益。
11.3%減

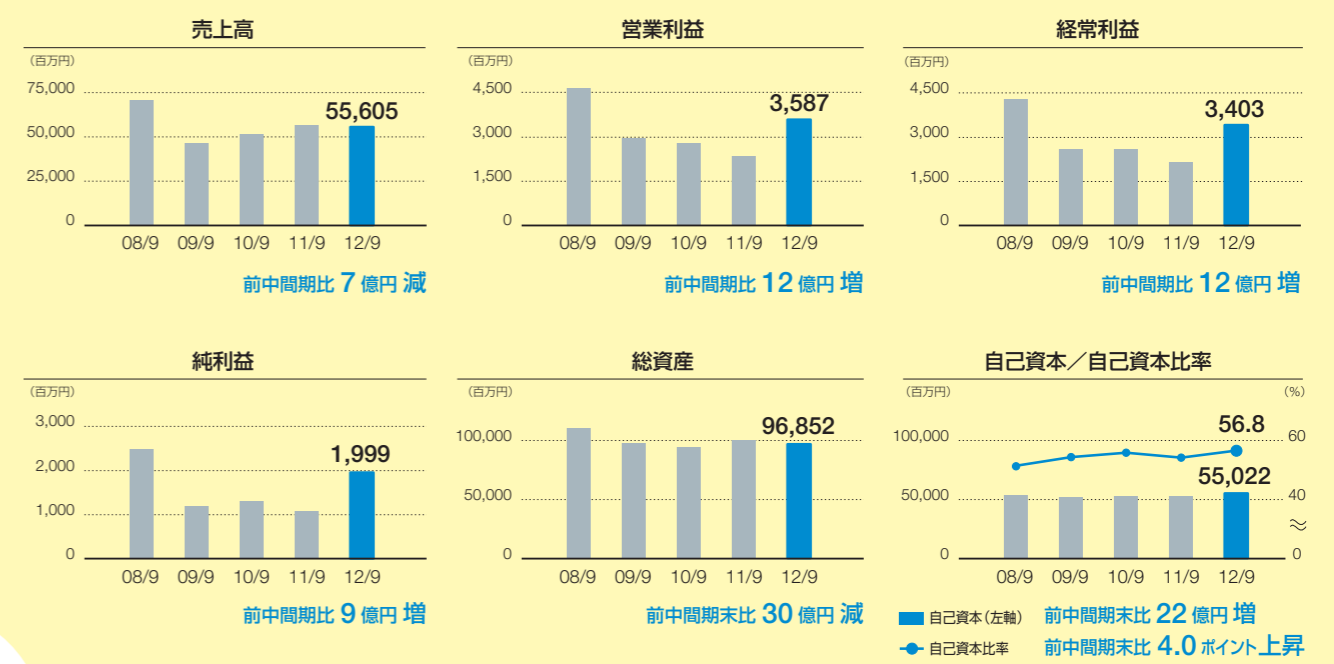
● 当期 (2012年4月～2013年3月) の経営計画 ●

○ 連結	(百万円)	○ 単体	(百万円)	○ セグメント別	(百万円)
売上高	111,000	売上高	65,000	バルブ事業	84,500
営業利益	7,200	営業利益	4,100	伸銅品事業	17,500
経常利益	6,900	経常利益	4,300	その他	9,000
当期純利益	4,000	当期純利益	2,600	調整額	—
				計	111,000
				営業利益	7,200
					△ 3,000

※ 上記の経営計画は、2012年10月31日に公表した修正計画です。

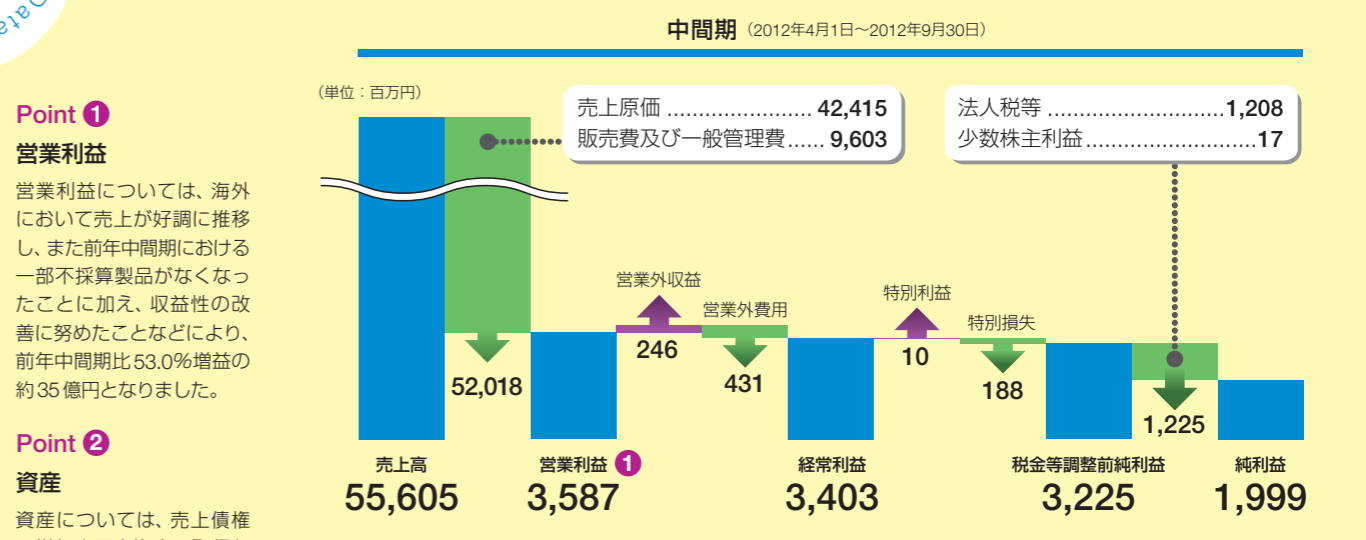
財務データ ●●

● 主要連結財務指標 ●



99 term Financial Data

● 連結損益計算書の概要 ●



Point 1 営業利益
営業利益については、海外において売上が好調に推移し、また前年中間期における一部不採算製品がなくなったことに加え、収益性の改善に努めたことなどにより、前年中間期比53.0%増益の約35億円となりました。

Point 2 資産
資産については、売上債権の増加や固定資産の取得などにより、前期末に比べ約18億円増加いたしました。

Point 3 負債
負債については、仕入債務の減少などはありませんでしたが、未払法人税や有利子負債の増加などにより、前期末に比べ約4億円増加いたしました。

Point 4 純資産
純資産については、配当金の支払いにより利益剰余金の減少があったものの、当中間期の純利益約19億円などにより、前期末に比べ約14億円増加いたしました。

● 連結貸借対照表の概要 ●

	前期末 (2012年3月31日)	当中間期末 (2012年9月30日)	前期末 (2012年3月31日)	当中間期末 (2012年9月30日)
資産合計	94,981	96,852	負債純資産合計	94,981
現金及び預金	5,674	5,807	流動負債	20,182
流動資産	47,247	48,887	固定負債	20,309
有形固定資産	34,767	35,155	株主資本	57,283
無形固定資産	2,404	2,647	その他の包括利益累計額	△ 3,692
投資その他の資産	10,561	10,162	少数株主持分	898
固定資産	47,734	47,965	負債	40,491
			純資産	54,489
			負債	40,912
			株主資本	58,846
			その他の包括利益累計額	△ 3,823
			少数株主持分	917
			純資産	55,939

経営トピックス ● ●

水素ステーション用バルブ市場に本格参入

このたびキッツでは、燃料電池車の水素ステーション用バルブ市場に本格参入しました。キッツグループ全社プロジェクトを立ち上げ、すでに日本市場で一部参入を果たしているCNG（圧縮天然ガス：Compressed Natural Gas）ステーション用バルブも含め、新たに“CLESTEC（クレステック）”シリーズとして、世界規模で急成長しているエコカーステーション市場に対する取り組みを強化しています。

国内初の70MPa級高圧ボールバルブを開発

燃料電池車は、水素と空気中の酸素の反応により電気を起こしてモーターを回し、排出するのは水だけという環境面で非常に優れた特徴を持ち、次世代エコカーの本命と言われています。この燃料電池車は自動車メーカーが市場投入に向けた動きを強めており、日本はもちろん、ドイツ、韓国、そして北米においても需要の拡大が期待されています。それにとまなない、燃料電池車の燃料となる高圧水素ガスを補給する水素ステーションの市場も世界規模で急成長しています。キッツでは、これらの市場環境に対応していくため、国内メーカーとしては初めて、70MPa（メガパスカル）級水素ステーション用ボールバルブを開発し、2012年9月より販売を開始しました。

従来品に比べ、高性能を実現

新製品は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からの開発委託を受け、このたび製品化に成功しました。従来品に比べ、同じ圧力でも約10倍の体積の水素を送り出すことができます。また、シール面に高性能なメタルシートを採用したことにより、さらなる高い信頼性と封止性が可能となりました。

グループ初の共同事業「KITZ CLESTEC-Project」

“CLESTEC”シリーズは、開発をキッツ、日本・アジア・米州向け製品の製造をグループ会社のキッツエスシーティー（本社/東京）、欧州向け製品の製造をPerrin

GmbH（本社/ドイツ）、そして販売はキッツグループで行い、グループとしては初めての共同事業となる「KITZ CLESTEC-Project」を展開していきます。水素ステーション用バルブは、すでに日本市場で一部参入を果たしているCNGステーション用バルブを含め、2020年度に売上高15億円を目指します。

キッツグループでは、低炭素社会の実現に向け、長年培ってきた高い信頼性によりエコカーステーションの発展・拡充に貢献していきます。



キッツの社会貢献活動 ● ●

キッツは2009年度に社会貢献活動の基本方針及び行動指針を策定し、全社的な活動を推進しています。

地域振興・環境保全活動



里山再生プロジェクト オオムラサキの森づくり

長坂工場が所在する山梨県北杜市のシンボルである国蝶「オオムラサキ」が棲める里山の再生を目指し、特定非営利活動法人（NPO法人）自然とオオムラサキに親しむ会が主催する植樹活動に参加しています。

九十九里海岸保安林の 再生活動

NPO法人 森のライフスタイル研究所と協働し、東日本大震災での津波により被害を受けた千葉県山武市の九十九里海岸保安林の再生に取り組んでいます。



小中高校生等 職場体験 学習受け入れ

小・中学生、高校生等が会社で働くことを通じて、職業観や会社のルールを学ぶため、本社及び工場の近隣学校を対象に職場体験学習を受け入れています。



● その他の活動

- ・事業所地域での各種イベント協賛（諏訪湖祭湖上花火大会、諏訪湖マラソン大会、春の高校伊那駅伝等）
- ・各事業所のクリーンキャンペーン（清掃活動）等

社会・国際貢献活動



TABLE FOR TWO プログラム

開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む活動です。本社及び工場の社員食堂に導入しています。ヘルシーメニューを社員が食べることで、その価格に含まれる1食につき20円の寄付金がNPO法人TABLE FOR TWO Internationalを通してアフリカ5カ国の給食事業の支援に役立てられています。

社会福祉団体への協力

社会福祉法人等の施設で作られたお菓子や商品の購入を通して、障がいを持つ方々を支援しています。本社及び工場にて販売会を行っています。



日本障害者アルペンスキー チーム及び三澤 拓選手の支援

2006年よりオフィシャルサポーターとして日本障害者アルペンスキーチームを応援しており、2011年度からはジュニア選手の強化と、パラリンピックで入賞実績のある若手選手 三澤 拓さんを支援しています。2012年10月には三澤選手を招いての講演会を本社で実施しました。



● その他の活動

- ・災害被災地への募金活動
- ・ペットボトルのキャップ回収によるワクチン支援 等

ネットワーク ● ●

【株式会社キッツ】

工場

- 長坂工場（山梨県）
- 伊那工場（長野県）
- 茅野工場（長野県）

営業網

- 札幌 ● 仙台 ● さいたま ● 千葉 ● 横浜
- 茅野 ● 新潟 ● 富山 ● 静岡 ● 名古屋
- 大阪 ● 岡山 ● 広島 ● 福岡

【国内グループ会社】

① 東京

- 東洋バルブ株式会社 ● 株式会社キッツエスシーティー

② 千葉

- 三吉バルブ株式会社 ● 株式会社キッツエンジニアリングサービス
- 株式会社キッツウェルネス

③ 滋賀

- 株式会社清水合金製作所

④ 長野

- 株式会社キッツマイクロフィルター
- 株式会社キッツメタルワークス
- 株式会社ホテル紅や

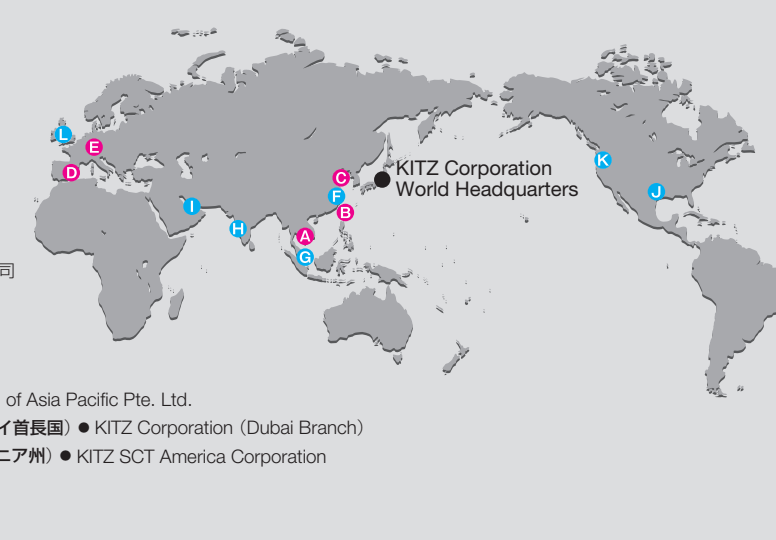
【海外グループ会社】

生産拠点

- A タイ（サムットプラカーン） ● KITZ (Thailand) Ltd.
- B 台湾（高雄市） ● 台湾北澤股份有限公司
- C 中国（江蘇省・昆山市） ● 北澤精密機械（昆山）有限公司 ● 北澤閥門（昆山）有限公司
- 北澤半導体閥門（昆山）有限公司（江蘇省・連雲港） ● 連雲港北澤精密閥門有限公司
- D スペイン（バルセロナ） ● KITZ Corporation of Europe, S.A.
- E ドイツ（ヘッセン州） ● Perrin GmbH

販売拠点

- F 中国（上海市） ● 上海開滋国際貿易有限公司 ● G シンガポール ● KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd.
- H インド（ムンバイ市） ● KITZ Corporation (India Liaison Office) ● I U.A.E.（ドバイ酋長国） ● KITZ Corporation (Dubai Branch)
- J アメリカ（テキサス州） ● KITZ Corporation of America ● K アメリカ（カリフォルニア州） ● KITZ SCT America Corporation
- L イギリス（ギルフォード市） ● KITZ Corporation (UK Representative Office)



株式の状況

○ 発行可能株式総数 400,000,000 株

○ 発行済株式の総数 109,222,350 株

(注) 上記の株式の総数には、当社が2012年9月30日現在に保有する自己株式 11,174,161 株を含んでおりません。

○ 株主数 10,727 名

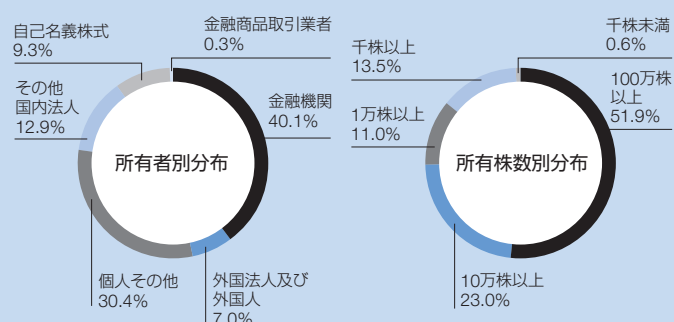
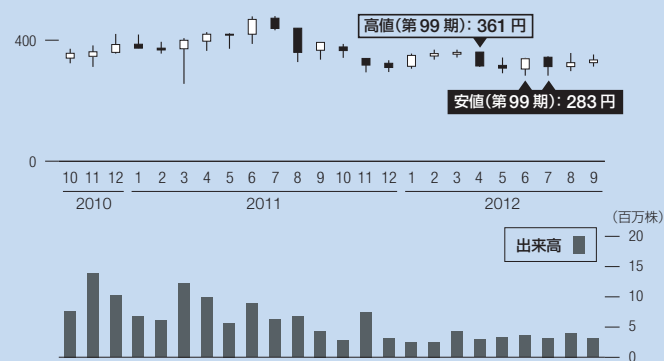
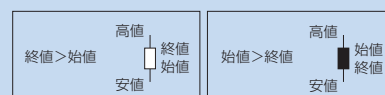
○ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	17,159	15.71
資産管理サービス信託銀行株式会社	5,272	4.83
日本生命保険相互会社	4,795	4.39
住友生命保険相互会社	3,502	3.21
公益財団法人北澤育英会	3,411	3.12
北沢会持株会	3,320	3.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,049	2.79
キッツ取引先持株会	2,984	2.73
株式会社みずほコーポレート銀行	2,553	2.34
株式会社三井住友銀行	2,553	2.34

- (注) 1. 当社は、2012年9月30日現在、自己株式 11,174 千株を保有しており、上記大株主から除外しております。
2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。
 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 17,159 千株
 資産管理サービス信託銀行(株) 5,272 千株
 日本マスタートラスト信託銀行(株) 3,049 千株
3. 日本生命保険(相)の持株数には、特別勘定年金口 13 千株を含んでおります。
4. 住友生命保険(相)の持株数には、変額口 245 千株及び特別勘定口 497 千株を含んでおります。
5. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 11,174,161 株を除いて計算しております。

○ 株価チャート

(円)
800 —



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
公告掲載方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載 URL (http://www.kitz.co.jp/)
単元株式数	100 株
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711(通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社概要

商号

本社

代表取締役社長

資本金

設立年月日

従業員数(単体)

株式会社キッツ

〒261-8577

千葉県千葉市美浜区

中瀬一丁目10番1

TEL (043) 299-0111

堀田 康之

21,207,084,670円

1951年1月26日

1,215人(2012年9月30日現在)

表紙の解説

Perrin GmbH

キッツグループは、最適地生産体制を構築するために、海外にも生産拠点を展開しています。Perrin GmbHは、ドイツのニデラウに本社を構え、主にボールバルブを製造・販売しています。2009年にキッツグループの一員となって以来、Perrinの持っている生産・技術などの強みを生かし、欧州、北米、中国などのエリアでグループ全体としてシナジー効果を発揮できる存在となっています。

